

Minamoto Jun

水源純五行歌集

月の実のなる木

五行歌ごぎやうかとは

五行歌とは、五行で詠む歌のことです。

万葉集以前の古代歌謡にならって、

現代の言葉で同じように

自由な調べで詠んだ歌。

それが五行歌です。

ふれ合うことは

ごく自然

という

ふたりの肌は

たぶん

会いたいひとが

会いたいと

言ってくれて

きらきら

お天気雨のきぶん

話しながら

泣いちやうくらい

あなたの真ん中のこと

わたしの真ん中で

聴く

まだ声にしてない声

ことば以上のことば

届いたよ

行間にしかないから

それはあわい、というんだ

何を待っているの？

雨を。

あのひとを

待てなかった私は

紫陽花の木を見上げる

見えないものだから

探してしまおう

いいえ

ここにあるのに

探してしまおう

ひとの

体温でしか

ぬくもれない

ところが

ある

ソライロアサガオに

色を

預けて

つかの間

空は自由になった

漬物石のような

木の瘤

力は

まあるく

熟^なるものかしら

知らないことは

たくさんあるけれど

月の実のなる

木を

知っている

水源 純（みなもと じゅん）

1975 年生まれ、東京都在住。

20 歳の頃から五行歌の書き始め、創始者の草壁焰太に師事。現在、五行歌の会で月刊『五行歌』の編集を担当。歌集に『この鳩尾へ』『ほんとう』『しかくいボール』がある。AQ 五行歌会メンバー。<http://5gyoka.com/aq/>

【五行歌集 月の実のなる木】

発行 オフィス みなもと

発行日 2019 年 8 月 8 日

<https://www.facebook.com/jun.minamoto.37>

https://twitter.com/ju_min